

# ゆのしらせ

## 片山津温泉総湯の裏側

片山津温泉総湯では、毎日安定してお風呂を準備するにあたり、利用者の方の見えないところで数多くの機械や設備が稼働しています。限られた温泉資源を利用する当施設の裏方の業務を少しご紹介いたします。

発行・企画  
加賀片山津温泉総湯公園  
5・8・11・2月  
(発行月下旬発行)  
本紙に関するお問い合わせは  
加賀片山津温泉総湯公園  
TEL 0761-74-0550  
ホームページ  
<https://sou-yu.net>

### 24時間稼働により お風呂の運営を 行っています

片山津温泉総湯の機械室は森の湯の直下、地下2階部分に浴場設備に関わる機器が設置されています。この機械室内には、36,000リットル源泉タンク、シャワーから出るお湯や水をためる66,000リットルのタンク、他にも、お湯を沸かす機器、浴槽のお湯を濾過・消毒する機器など、たくさん機器が24時間稼働しています。営業時間外にも翌日の営業に向けた準備のため休むことなく稼働し続け、毎日のお風呂の準備と運営を行っています。また、片山津温泉総湯の特徴として、燃料に依存しない給湯システムを備えており、シャワー用の湯沸かしも、源泉の持つ熱量と電気を使用したもので、平常の営業時には化石燃料などを燃焼させることがないので、CO2を排出せず、環境負荷の少ない営業を行っています。

### 1日に使用できる温泉は 約50,000リットル 片山津温泉は 温泉たまごにも最適

片山津温泉総湯に供給される温泉量は1日当たり約50,000リットルで、そのほとんどを余すことなく、できる限り全て使い切るように設定されています。

森の湯・湯の湯の各浴槽の容量は約16,500リットルで両浴場とも浴槽にお湯を張ると約33,000リットルが使用されます。1日に供給される温泉量から浴槽の分を引くと、約17,000リットルとなり、この約17,000リットルが各浴槽に注ぎ込まれている、源泉かけ流しの分となります。

また、総湯が使用している片山津温泉2号源泉は湧出温度が約73℃と高温で浴槽に使用する場合には冷ます必要があります。源泉を冷ます際には熱交換器を使用して、源泉の持つ熱エネルギーをシャワーで使用するお湯に移しています。つまり、浴場で使用するシャワーも温泉の恵みを利用しており、温泉の恩恵を享受できるものとなっています。

### 今年度の 小人無料の日にあわせたぬるめ湯温調整は 9月で終了となります

毎月19日・26日に実施している小人無料の日に合わせて、ぬるめの湯温調整は9月で終了となり、10月からの小人無料の日は通常調整(42~43℃)となります。10月以降も小人無料の日は実施されますが、湯温調整は平常通りとなりますのでお気を付けください。  
※ぬるめ湯温調整は気温の高い5~9月の実施となります。

### 片山津温泉は 温泉たまごにも最適

片山津温泉は湧出温度約73℃と高温で温泉たまごを作るために非常に適した温度です。黄身と白身の固まる温度の違いを利用し、とろりと仕上げられる温泉たまご作りには、非常に適した温度で、片山津温泉で作る温泉たまごは加温の必要がなく、温泉の持つ熱エネルギーのみで仕上げることが出来ます。

さらに、片山津温泉は高張性と呼ばれる、温泉成分が濃く含まれる泉質です。高張性温泉で作る温泉たまごは、浸透圧の作用によりたまごの中に温泉成分が浸透し、温泉の恵みを多く含む温泉たまごとなります。片山津温泉は塩化物泉ですので、温泉成分をたっぷり含んだ温泉たまごは何もつけずにたべても、ほんのり塩味が感じられます。

### 長風呂・湯あたりには ご注意ください

片山津温泉総湯は、成分や湯温の関係により、湯あたりを起こしやすいお風呂です。体調とご相談いただき長風呂には十分お気を付けいただいたうえでご利用ください。

片山津温泉の特性上、お湯につかっている間、浸透圧の作用で身体から水分が失われていきます。当総湯ご利用の際は水分補給にもご留意いただいたうえでご利用ください。

### 節水・省エネに ご協力ください

現在、電気料金などの光熱費が高騰しております。総湯ご利用の際は、節水や省エネにご協力いただけますようお願いいたします。

### 次回の休館日は 9月14日(木)を 予定しております

機器類メンテナンス、洗浄等のため休館日とさせていただきます。ご了承ください。



ほんのり塩味の  
片山津温泉の温泉たまご  
「湯の花たまご」